

目的

専門家あるいは非専門家を相手に研究成果の発表をすることや、研究の報告書や論文を書くことは、研究者や研究に関わる大学生、大学院生のシゴトの一つです。このとき、闇雲に情報を発信するだけではコミュニケーションは成立せず、受け手に負担をかけるばかりか、誤った情報が伝わったり、情報の価値が十分に伝わらなかったりします。情報の発信者は、自身の成果やアイデアを正確にかつ効果的に聞き手へ伝えるための努力をする必要があります。このセミナーでは、研究活動で役立つデザインの基本ルールを学ぶとともに、プレゼン資料や研究費の申請書などを題材にデザインの実践的なテクニックの習得を目指します。

対象

- ① 連携型博士研究人材総合育成システム「次世代研究者育成プログラム」育成対象助教
- ② 学際科学フロンティア研究所教職員
- ③ 学際高等研究教育院生
- ④ 学内の教職員・学生

場所

学際科学フロンティア研究所セミナー室
(22日のみ北海道大学及び名古屋大学へポリコム中継)

日程 (2日間の集中講義形式で実施)

平成30年2月22日(木) 14:40~16:10, 16:20~17:50 (講義+グループワーク)
23日(金) 10:30~12:00, 13:00~14:30 (PCを使った実習)

※22日は人数制限をしますが、23日は先着30人で東北大学限定とします。

申込方法

Emailにより申し込みを受付します。

下記の必要事項を記載の上、申込先に2月8日(木)までにお申し込みください。

- 必要事項：所属、職名または学年、氏名、参加希望日
- 申込先：conso@fris.tohoku.ac.jp
学際科学フロンティア研究所事務室総務担当 楠田 望
- Emailの件名には、「デザイン寺子屋申し込み」を記入してください。

なお、22日(木)の講義は事前申し込み無しでの参加も可能ですが、23日(金)の実習は事前申込者による定員制(先着順)になります。実習希望者の参加の可否は2月13日(火)までにお知らせいたします。

講師

高橋佑磨氏(千葉大学大学院理学研究院助教、伝わるデザイン：研究発表のユニバーサルデザイン主宰者、元学際科学フロンティア研究所助教)

講義

2月22日(木)

14:40~16:10

1コマ目「書体の選び方と読みやすい文章のデザイン」

書体やフォントは資料全体の印象や読みやすさ、見やすさを大きく左右します。同様に、箇条書きや文章の作り方も読みやすさや見やすさを左右します。ここでは、研究者や学生などの非デザイナーが知っておくべき文字の使い方(タイポグラフィ)の基本を紹介します。最後にPCを使わないグループワークも行ないます。

16:20~17:50

2コマ目「図表のデザインと見やすいレイアウト」

グラフや表は情報を効率的に伝える際に役立ちます。ここではグラフや表、フローチャートなどの作り方に関連するデザインのルールや、画像に関する基本知識や画像を扱う際の注意点を紹介します。さらに、プレゼン資料や学会発表のポスターを例に、資料全体のレイアウトや配色の際のルールも伝授します。色覚バリエーションについても触れます。最後にPCを使わないグループワークも行ないます。

2月23日(金)

10:30~12:00

3コマ目「Officeソフトを使ったデザインの基本テクニック」

PCを使った実習。用意した課題をもとにPCの操作方法を紹介

13:00~14:30

4コマ目「実際の資料を使ったデザイン実践」

PCを使った実習(実際の資料を使って資料の修正を行なう)

共催

連携型博士研究人材総合育成システム「次世代研究者育成プログラム」

問合せ先

東北大学学際科学フロンティア研究所事務室 担当：橋本圭一
Email: conso@fris.tohoku.ac.jp Tel: 795-5755

